



広報みまた

新茶の香りが
いっぱい!

茶を摘む人、人みな、ほほえみをうかべながら
忙しそくに摘む手を休めることも知らず精出して
いた。

5/47

豊かな生活と調和のある開発をめざす

広域市町村圏事業

県内トップを切って昭和四十四年八月に発足した都城市、北諸県五町による広域市町村圏振興整備計画は、本年度で三年目を迎え「豊かな生活と調和のある開発をめざして」既に、二次圏施設も都北豊かい処理場をはじめ、職業訓練センター、北消防署などが完成、引き続き公衆衛生センターの着工など、広域行政の基幹的役割になう重要施設が、つきつぎに整備されつつあり、圏内の行政水準の向上に大きな成果を収めつつあります。



◆広域市町村圏構想のねらい

最近、社会経済のめざましい発展と交通通信手段の発達に伴なって、地方でも都市化の傾向が急速にめだつてきています。このため中核都市と、これを取り巻く農村部との往来が激しくなり、住民の生活圏も広がってきました。

そこで、一定の区域を設けて、近隣の市町村が協力し、公共施設や文化施設を整備し、より豊かな生活が確保できるようにしようとするのが、広域市町村圏構想のねらいです。

◆一次生活圏と基礎集落圏

この計画の基本となるものは、都市と集落の整備ですが、今日の情報化時代に対応し、圏域住民の生活環境の向上と、経済開発を推進するためには、都城市の市街地を核とする圏域内の交通通信体系を早急に整備する必要があります。

このため、図1のように十のブロックを設定しました。これを一次生活圏といいます。

つきに、一次生活圏のなかに基礎集落圏(いくつかの部落が寄りあった圏域)を設定しましたが、これは老人や幼児の徒歩限界といわれる半径一〜二キロメートル、時間にして三十分程度の距離とし、戸数では三百から七百戸をめやすにしています。

このように設定した各圏域と市街地、あるいは一次生活圏と基礎集落圏相互間を結ぶ交通通信体系の整備を行うとともに、図2のように、それぞれの圏域に必要な施設を適正に配置することになります。



ただいま建設中の公衆衛生センター

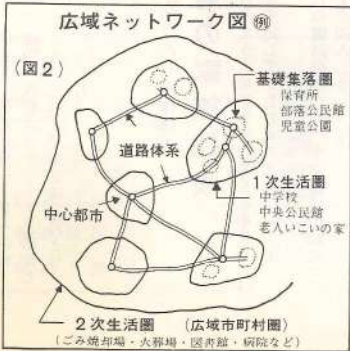
◆十年間で二二二億円の大事業

広域市町村圏計画で実施する事業の内容は、大きく分けて、①広域ネットワークの整備のための市町道の整備、②圏域の市町が共同で処理する広域的公共施設の整備(二次圏施設)

③前項2の事業整備を行なうために必要な施設で、それぞれの市町が事業実施主体となつて行なう施設の整備(一次圏施設)の三つになります。本計画で策定された事業は、この三つのいずれかに該当する施設になります。

広域市町村圏計画で、発足から向う十か年間に整備しようとする施設に要する総事業費は、二百十二億一千万円にのぼっています。

事業の費目別内訳は、市町道整備費が百七十五億九千九百万円で総額の八十三%を占め、ついで、教育文化施設費十五億二千四百万円、生活環境施設費六億五千万円、観光施設費五億二千九百万円、行政合理化施設費三億二千万円、社会福祉施設費二億九千四百万円、保健衛生費一億七千万円、



◆既に完備された

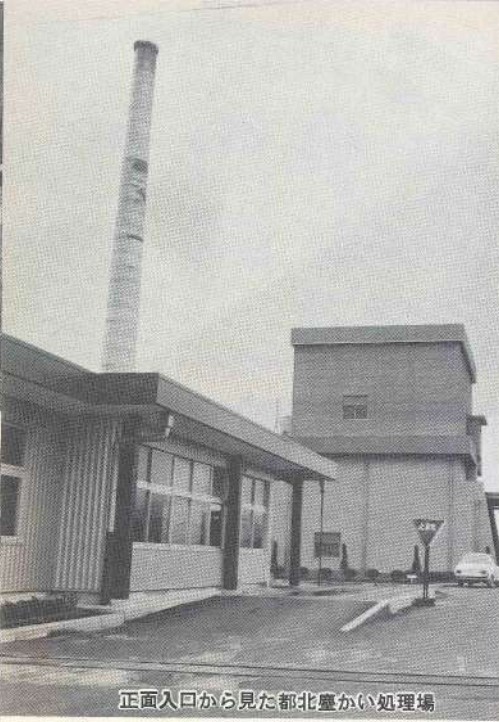
二次圏施設の内容

▼都北豊かい処理場

都城市市元町に昭和四十五年度から二か年計画で建設された都北豊かい処理場は、敷地面積一七、九一五㎡、建物面積九九六、五三㎡

▼都城北諸県職業訓練センター

圏域内の事業所に従事する労働者の技術向上を図り、有能な技術者の養成に、職業安定に寄与するために設けられたこの職業訓練センターは、昭和四十六年二月着工、同年五月完成、設置場所都城



正面入口から見た都北豊かい処理場

一家平素



宮村小学校長 渡辺 邦彦

○……顔を洗い終り、庭におりて行く。思い切り両うであげて深呼吸をする。空気がおいしい。春がすみに浮かぶ霧島山がきょうも美しい。朝日に映えて、銀色のがやき。この土地(宮村)に住むようになってちょうど一年。こう

宮村小学校長 渡辺 邦彦

盆地の風情



して毎朝、雄大な風情にひたるひとときが実に楽しい。しあわせに思う。
○……「先生、こつちのことはいじめられたか」と、よく聞かれる。意味のとれないことばもある。しかし、聞いていて、何か味わいのあることばがいくつもある。とくに、四、五十才から上の方々が、互いにやりとりしている話のことばに、方言のみ力を感じる時がある。
「ドキ、オジャシタカ」
「ヤクベ、イタクキモシタ」
「……ゴフシタナ」……
何か気品を感じる。北諸

の豊かな土のおいを感じる。ふるさとのことは、大事にしたいものである。
○……春の隅が西に沈んでゆく。ひろのつづく畑。その彼方に、町役場のコンクリート建がシルエトとなって美しく浮かぶ。その庁舎に見守られるごとく三股の町が静かに暮れてゆく。農夫婦が同乗した耕耘機が、ポンポンポン……と音をたてて農道を帰って行く。かすんで見える都城の町に、色とりどりの灯がポツポツともつてゆく。やがて平和の甲は夜のとおりに空気を味わいのあることば。そして薄暮の詩。――すばらしきかな盆地の風情。

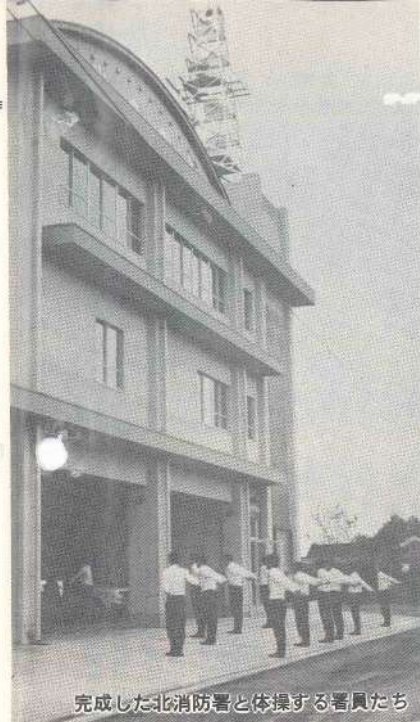
5月15日

沖繩復帰おめでとう

名譽会長	大河内 利雄
名譽副会長	大坪 貞志
会長	野瀬 良胤
副会長	田中 康稔
副会長	木田 三郎
事務局長	原田 一彦
青年連絡協議会	
会長	瀬尾 春一
副会長	釘元 信一
事務局長	野崎 安行
上	豊丸 幸子
副会長	大脇 幸子
書記	西 みどり
副書記	上 西 みどり

役員紹介

新年度の役員が決まりました。どうぞよろしくお願いします。



完成した北消防署と体操する署員たち



都城北諸県職業訓練センター全景



動作もきびきび・署員は毎朝点検をうけている

北消防署

昨年九月から都城、北諸県五町の丁度中心部に位置する松元町に建設が進められていた北消防署は本年三月完成しました。
敷地面積三、一五〇㎡、建物、鉄筋コンクリート三階建一、〇一、二、五㎡、水そう付ポンプ車、ボ

公衆衛生センター(建設中)

現在、圏域内の医療機関における臨床検査あるいは実験結果などの判定については、県外の機関に依頼しており、時間的にも経済的にも多くの無駄と不便をかこっているのが現状です。
こうした問題を解決するために

郵便局の家族保険

一枚の証書で、家族みんなを保障
この家族保険は、毎日のように発生している交通事故から一家を守り、安心して生活していただくために設けられたものです。
手続きは簡単。あなたの電話ひとつで、すぐ係員がお宅へ飛んで参ります。今すぐ加入しましょう。

人の収容能力もついています。昭和四十六年度は本町から十六人が建築科訓練生として受講されました。

議会だより



老人ホーム清流園

三股町社会福祉法人やまびこ会に委託運営

去る三股町議会第二回定例会において、昭和四十七年度一般会計、各特別会計の当初予算をはじめ三十三件が町長より提案されました。町議会としては長期にわたる私たちの町政の方向を決め

よりよいサービスと運営の充実をはかるために

三股町養護老人ホーム清流園は昭和三十八年に設立。収容定員五十名をもって今日まで運営されて参りましたが、身よりのない薄幸のおとしよりたちのお世話をする場として、こよなく喜ばれ親しまれて参りました。

しかし、更にこの老人ホームの運営を充実させ、よりよいサービスに努めようという主旨のもとに、三股町社会福祉法人やまびこ会に委託したらどうかと提案され

第2回定例会
当初予算など
33件を可決

現在、県あるいは市段階においては、社会福祉事業団という法人組織があったり、保育園とか老人ホームなどの福祉施設を経営しております。本町もそれにならって福祉事業を推進しようとして、三股町社会福祉法人やまびこ会が設立されております。この法人は昭和四十年に三股町社会福祉会として発足し、当時はこぼと保育園(勝岡)を運営、その後、昭和四十六年には三股町社会福祉法人やまびこ会と改称し、すみれ保育園(宮村)と、わかば保育園(山王原)を、更に本年十月一日からひまわり保育園を運営することになっております。こうした保育園とともに四月一日から委託運営されることになった老人ホームが、今まで以上に楽しく笑いに満ちたおとしよりの樂園として、ますます充実発展していくことを心から願っています。

おとしよりの樂園として 発展を願う

自然と花を求めて

町外から行楽客がどっと

最高の人出でにぎわった

長田椎八重 つつじ祭り

四、五月は青葉、若葉の新緑の季節、野や山は草木の若芽が伸びて緑一色となり、そよ吹く風もさわやかです。

絶好の行楽シーズンを迎え、そ

れに今年には四月二十九日の天皇誕生日と日曜日の連休を皮切りに、ゴールデンウィークとあって、レジャーも一段と楽しいものになりました。とうとう家庭中心主義が主流。観光地、温泉、海、遊園地いずれも結構とばかり、どこも客でこった返っていました。

本町でも四月二十五日家畜の神様で知られ、親しまれている恒例



の早馬神社春まつり、つづく長田椎八重つつじ祭りが盛大に催されましたが、例年にない最高の人出でにぎわいました。

特につつじ祭りは、長田峡の溪谷美とともに自然の景観に親しもうと町内はもとより、町外からの客が多く、家族連れや学生、六十一七十代の老人がグループで訪れる姿が目立っていました。

広々とした台地一面に広がる緑の芝ふと、赤、白、ピンクのつつじの花のおりなすカラーは、行楽客の目をたのしませ、来る人、来る人を満喫させてくれました。

また、釣りを楽しむ人あり、バミントンやバレーボールで思いきり手足をのばすグループあり、中には花をバックに家族一同カメラに収めるははえましい風景もあちこちで見られました。



是非備えましょう
— 郷土の図書を —

「三股町史」は、わたしたち祖先の築いた足跡であり、哀散の縮図でもあります。

古代、三股の名の起源から封建時代、近世、現代に至る史観、伝説や町政、教育、産業、観光などが克明に記されており、郷土を理解し、これからの町民の生活指針として、大いに役立つものと信じます。是非、各家庭にお備え下さい。

三股の今日を 築いた人々

「古きをたずねて新しきを知る。」つまり現代のよきは、かつて数多くの人々がその英知を結果としてつくられた過去のよしが含まれており、更に歴史的な伝統のよきでもあります。

今日の三股町の繁栄は決して偶然ではなく、幾多の苦難と試練の中から勇氣と忍耐をもって

達成されたのです。

ここに発刊された「三股の今日を築いた人々」は、過去をわいて活躍された人々の事績を各部門別に分類収録したもので、「三股町史」ともに欠くことのできない郷土資料です。

沖水川治水史

沖水川にまつわる語りぐさは多く、本町の観光、農産業面に恩恵を受けています。一方、台風、豪雨にあっては猛威を荒れ狂い、町民を苦しめることもしばしばありました。

既に数十億の巨費を投じた一大砂防工事も順調な運びで、いまや完了の域に達してあります。

「沖水川治水史」は、先人の努力をしのび、さらに一段と社会を良くするための努力を積み重ねね...そこにはじめて人間社会の進歩と発展があることを強調し、ここに発刊の運びとなりました。

全国でも例の少ない、県下では勿論、初めての河川史として、忘れ去られようとしているこの川の成り立ち、改修工事の裏話、工事に当たった人たちの苦勞などが、豊富にこの一冊の本にまとめてあります。

ご希望の方は、早目に三股町役場、会計課窓口でお求め下さい。価格は各五〇〇円となっています。

昭和四十七年五月一日発行 第九十一号

近代建築の粋を集めた、新しい役場の庭に立っている銅像「若い女」の像を眺めていると、

「先生、何ゴツ、ガスカ。」

「若い女の像を見に来ました。」

「ソラ、ヨカシタ、ユ、出来テヨイ、モシドガ(大変よく出来ているでしょうが)」「ほんとにすばらしい銅像ですね。」

「ソラ、先生ゆつくり見ヤッタモンセ。」

「ありがとうございます。」

「ご老人は、ここにこしながら、孫さんの手を引いて上米部落の方へ歩いて行かれた。」

緑の芝の中に、くつきりと立っている若い女の像には、桜井祐一作、「健康」と刻んであった。このすばらしい近代彫刻「若い女」の像を眺めながら、遠い遠い昔の三股を思い出した。

昭和十八年頃であったと思う。先輩の陸軍入隊祝いに行った時の

ことである。多くの人が集まって、入隊を祝うあいさつがはじまった。

× × ×

……貴殿の入隊は、ご家族の名誉であり、ご家族の名誉は、部落の名誉であり……三股町の名誉であり……宮崎県の……日本民族の名誉である……と、次々とのべられた……

さあ、開宴となった時、一般席より声あり、「一言ごあいさつを……」また長い長い話があり、これで終わったと思った時、また声あり「一言ごあいさつを……」と、次々と続いた。

× × ×

「一言ごあいさつを」と背骨をしゃんと伸ばしてあいさつされる。古武土的なご老人と、あの美しく、やわらかい若い女人像を眺めるご老人の心を組み合わせることは、どうしてもできない。ところが三股町のご老人は「ソラ、ゆつくり見ヤッタモンセ……」とうまく組み合わせておられる。三股町は古くて新しい町であり、そして不思議な力を持っている町である。

運転者の心得

車間距離は充分に

最近、走行中に割り込まれたり、交差点付近および交差点内での追突事故が目立ってふえています。運転される方は、次のことを常に頭にいれて安全運転につとめて下さい。

●前車に追従するときは、安全な

自動二輪車を運転される方へ

五月一日から自動二輪車を運転される方は、ヘルメット着帽が義務づけられました。同乗者もヘルメットをかぶらなければなりません。(道路交通法第七条の二)あなたを守る「ヘルメット」をかぶりましょう。



車間距離をとることが大切です。もし、車間距離が短くつまったときは、すぐにアクセル加速をやめるとか、ブレーキを踏むなどして、正しい車間距離を保つようにして下さい。これを忠実に守れば、前車が何かの原因で急制動しても、追突事故を避けることができます。「事故一秒、けが一生」先ずは安全運転を……。

三股町の人口

4月1日現在

男	7,308人
女	8,038
計	15,346
世帯数	4,507戸
出生	16人
死亡	10

編集後記

▼今月の表紙は、最盛期を迎えた茶摘みの風景をとらえました。例年になく冷害で、いつもの年より十日も遅れて茶摘みはじまりました。

猫の手も借りたい忙しさの中にも、常にはほえみがあり、明日への農業のいぶきが強く感ぜられました。

▼広報係では、みなさんの原稿やほほえましい写真などをお待ちしております。どしどしお寄せ下さい。